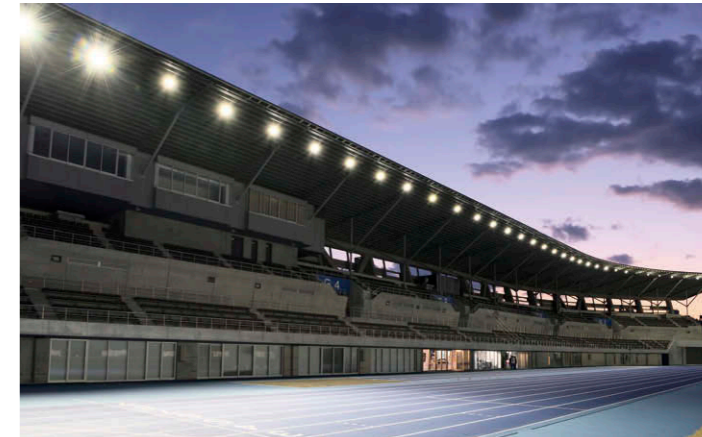


香川県高松市の屋島陸上競技場が約2年半をかけて全面的に改修され、2017年4月、屋島レクザムフィールドとして生まれ変わりました。主競技場には屋島の景観に合わせて瀬戸内海などをイメージした鮮やかなブルートラックが採用され、フィールド照明としてLED投光器(1kW形および400W形)がスタンド屋根に設置されました。

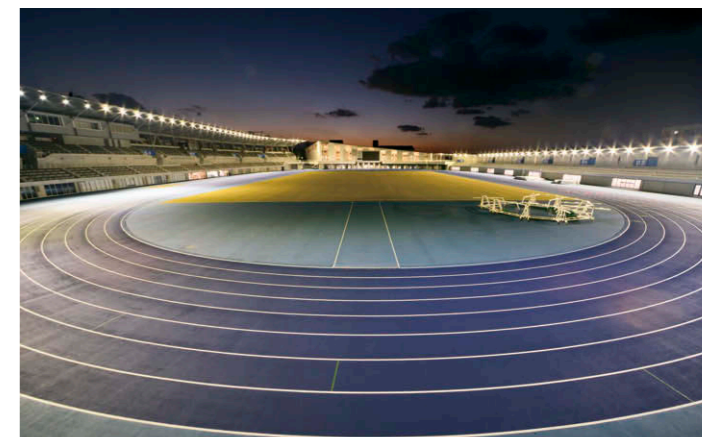
半世紀以上にわたり香川県のスポーツ振興の舞台となってきた屋島陸上競技場。老朽化による再整備計画が進められ2017年春、「屋島レクザムフィールド」と名付けられた新競技場としてリニューアルオープン。「コンパクトで多機能な陸上競技場」というコンセプトにより、収容人数6,000人、室内競技場も併設した施設となっています。メイントラックは日本陸連第2種公認の仕様に基づき設計され、106×69mのフィールドはサッカーをはじめ多目的に利用できるよう天然芝が敷かれています。



【物件概要】  
所在地：香川県高松市屋島中町 374-1  
延床面積：18,366㎡  
建築主：高松市  
設計・監理：柳佐藤総合計画  
施工：建築／大成・高岸 特定建設工事共同企業体  
電気設備／四E・四国電設 特定建設工事共同企業体  
構造・規模：SRC造、一部RC造、5造4階建て  
工期：2014年6月24日～2017年3月10日



フィニッシュライン付近の照明環境 器具光束2,000lmの1kW形LED投光器①6灯により平均照度666ルクス(初期測定値)の地上面照度を確保



主競技場全景 東側サイドスタンドから西側大型ビジョンを中心に主競技場全体を望む



メインスタンド屋根(高さ18.4m)に400W形LED投光器②が等間隔で並べられたバックスタンド屋根

### 1kW形および400W形メタルハライドランプ器具相当のLED投光器が、明るいスポーツ環境を創出。

屋島レクザムフィールド(高松市屋島競技場)は、日本陸上競技連盟第2種公認として様々な陸上競技大会に利用されます。主競技場の照明設備は曇天時の照度確保および薄暮時から夜間にかけてのスクール利用やレクリエーション利用のために設けられています。

採用された器具は公共施設用照明器具対応LED投光器。最大高さ19.5mのメインスタンドおよび最大高さ10mのバックスタンドの屋根に設置され、照明塔によらない器具設置となっているため、スタンド越しに見える屋島の眺望が妨げられることなく、また近隣への光害を最小限

に抑えることにもつながっています。

計84台の400W形メタルハライドランプ器具相当LED投光器を中心につくり出される照明環境は、メイントラック上の地上面平均照度で132ルクス(初期測定値)を実現。また、写真判定などで明るさが必要となるフィニッシュライン付近の照度を得るため、メインスタンド側のゴール前に1kW形メタルハライドランプ器具相当を6灯配置。平均照度666ルクス(初期測定値)の明るさを確保しています。

メインスタンド側の照明 メインスタンド右手より主競技場を望む。LED投光器①②によりトラックのブルーと天然芝のグリーンが鮮やかに映える



① LED投光器1kW形  
メタルハライドランプ器具相当

② LED投光器400W形  
メタルハライドランプ器具相当

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
スタンド 庇部	①LED投光器 1kW効率重視形 メタルハライドランプ器具相当 耐塩形	LEDS-50407NM-LJ2改	6	消費電力: 505W
	②LED投光器 400W形メタルハライドランプ器具相当 (700W形水銀ランプ器具相当) 耐塩形	LEDS-20401WM-LDJ LEDS-20401WW-LDJ	36 48	消費電力: 225W